



クリスマス



合志市社会福祉協議会 障がい者支援センター「れんがの家」だより

《ヘルパーステーション便り》

先月より始まった同行援護サービスに係わり、目の不自由な方の代筆・代読業務を行いました。とても感性の高いご利用者ばかりで、お掃除したり、料理を作ったり、買い物に行ったりの支援と同様に、ご利用者の生活や人生観を真摯に受け止めながらご利用者が気付かれなくても、いつでもご利用者の隣を歩いていくという意識で頑張っています。

今月も毎日大変お世話になっている登録ヘルパーさんを順不同でご紹介させていただきます。

【登録ヘルパーさんご紹介】

◆嶋田 明紀代(しまだあきよ)・ヘルパー

ご利用者が言葉に表す前に、ご利用者の日頃のご様子から、今、ご利用者が何を求めているか、どんなことを想っておられるか強く感じとれるように、絶えずアンテナを張りながら支援活動を行っています。



◆津曲 茂子(つまがりしげこ)・ヘルパー

その時、その時のご利用者の気持ちになって、支援するという意識ではなく、ご利用者に寄り添い共に居るという想いで、日々の活動を頑張っています。ご利用者の笑顔を見るとホッとします。



私たちはご利用者の日常生活に深く関わりながら支援をさせて頂いています。ご利用者の生活を通してご利用者一人ひとりの生きる力を感じています。その生きる力が少しでも大きく・強くなればと願いつつご利用者と伴にという想いでいます。ご利用者の日常生活が昨日よりも今日、今日よりも明日と改善できるように努力しています。



《「日中一時支援事業」便り》

冬休みを目前に控えて、小・中・高校生の子供達は、クリスマスや年末年始の楽しいイベントについて、いつもの屈託のない笑顔見せながら期待に胸を膨らませています。「れんがの家」での子ども達も、初めてのお芋掘り、成瀬局長の生ギターに合わせての音楽会、たこ焼きパーティー等「れんがの家」ならではのイベントに、ワクワクドキドキしながら、晩秋のひと時を楽しんでいました。また、東北の被災者の皆さんへ元気メッセージを一生懸命書いている子ども達の瞳はともエネルギッシュで純粋で…。きっとこの子たちの想いは遠く離れた東北の人たちに届くだろうと確信しました。



《 お芋掘りに挑戦 》



《 音楽会 》



《 卓上サッカー 》



《 たこ焼きパーティー 》



《 団子汁の団子作り 》



《 東北へ元気メッセージ 》

子ども達が無邪気に元気に遊んでいる姿を観ながら「この子たちに何が出来るのだろう・・・」といつも想ってしまいます。ただこの子達に寄り添い・子ども達と伴に過ごし、この子達の無限の可能性を見出しながら、生きる力を育てていきたいという想いで日々努力しています。



《「地域活動支援センター」便り》

●農園クラブ

今月は、キャベツと白菜の収穫をし大根の間引きを行いました。収穫したキャベツや白菜は、たこ焼きパーティーや団子汁の具材に使用しておいしくいただきました。無農薬で虫がいっぱいの野菜たちですが、その味は特別においしく自然の恵みに・偉大さに感謝しています。



《 大根の間引き 》

●手芸クラブ

イベントバザー用の「くまモン」キャラクターのクラフトペン立てを作りました。県から「くまモン」キャラクター販売の許可申請番号も受け、多種多様な表情の「くまモン」ペン立てが出来上がりました。「くまモン」制作という一つの目標に向けて、ご利用者が一致団結し「絆」が芽生えた一ヶ月でした。



《 ペン立て制作 》

●陶芸クラブ

養護学校の現場実習生が参加して、ロクロを使用せずに自分の好きな作品を作ってもらいました。ただの粘土から自分の想いの形になっていく様子にとっても興味を示していました。陶芸を通して実習生のこれからの人生に何らかの道標みたいなものが残ったら幸いです。



《 自由な発想での陶芸 》

●茶話会

子育てサロンのわくわくメンバーの親子の皆さんと、本格的な茶道のお手前で静かで楽しいときを過ごしました。年末の気忙しい時期を前にして、しんとした静寂な空間で茶筌が奏でる音を聴きながら心穏やかなひとときでした。



《 心静かな茶話会 》

●手話教室

色々な気持ちを手話で表現することに少しずつ慣れてきて手話での会話を楽しめるようになってきました。聴覚障害者の皆さんも多くの人とコミュニケーションが取れるようになり喜んでいらっしゃいます。ご利用者の世界を広げる…。これも私たちの役目と考えています。



《 笑顔一杯の手話教室 》

●手作りパン工房

今月は焼きそばパンを作りました。生地パンを石窯で焼いて焼きそばや色々な物を調理して、焼き立てパンに挟んでおいしくいただきました。皆さん大好きな焼きそばとほかほかパンのコラボレーションに、満面の笑みを浮かべながらパン作りを楽しんでいました。



《 熱心にパン生地作り 》

●ご利用者ミーティング

地域活動支援センターの基本的目標の一つに、「自主的な活動運営」があります。今回はその一環としてご利用者同士で、これからの「れんがの家」での活動方針や運営の在り方等について熱い議論が展開されました。私達もご利用者の自主性を尊重したセンター運営を目指し、ご利用者が活き活きとした活動ができるようなセンターにしていきたいと思っております。



《 ご利用者ミーティング 》

ご利用者が「障がいがあるというだけで色々寂しい想いをしているのに皆に優しくしたい」と憂いに満ちた表情で話してくれず。ご利用者の笑顔の奥に潜む人生の機微を忘れず、ご利用者が心から笑顔になるように伴に居たいと想っています。

